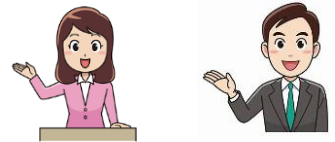


R5 学力向上プラン



(1) 学力について

① 「めあて」「まとめ」「ふりかえり」を明確にした授業の実施

1時間の授業で何を学ぶのか、何ができるようになればいいのか、「めあて」を明らかにし、何を学んだのかを「まとめ」、何ができるようになったのか、まだできていないことは何か、「ふりかえり」を行うことにより、確実な学習の定着を図ります。

② 伝え合うことによる学習活動の実施

授業にペアトークやグループトークを取り入れ、自分の考えと相手の考えを比較することにより、自分の考えを深めます。また、異学年交流を通して学習活動を行うことにより、自分に自信を持つことにつながります。

③ ICTを活用したわかりやすい授業の実施

教科書の大切なポイントを拡大して黒板に投影したり、作業の進め方をわかりやすく説明したりするのに有効な①スクリーン、大型ディスプレイ②タブレット等を活用し、子どもたちの興味関心を喚起し、学習理解の促進を図ります。

④ 具体的教具を活用した授業の実施

図形の学習等において、実際に紙を切ったり貼ったり、立体模型を操作したりするなど、具体物を使って子どもたちの思考力を育みます。

⑤ 書く活動の充実

各教科において自分の導き出した答えや考えを文章に表す習慣をつけさせます。

国語科：物語文では構成を意識して文章を読む力、説明文では要旨をとらえる力をつけるためのワークシートを活用します。「えんぴつタイム」をさらに充実させ、記述することに慣れさせる。

算数科：思考力や論理力を養うためのワークシートを活用します。

週末にワークシート課題を配布し、読解力をつけ、そこから自分の考えを表現する力を身につけさせます。



⑥ 補充学習の実施（さくらタイム月1回）（放課後学習週1回）

授業における学習定着が十分でない児童、さらに学びたい児童を対象に補充学習を実施し、学力の定着を図ります。

⑦ 読書活動の充実

朝の読書タイム、週末読書、読書週間等を通して、子どもたちの読書習慣の定着を図ります。

⑧ 評価テストの活用（CRTテスト、国・算）

各学年の到達させたい学習目標を明らかにし、その学年で定着させなければならない内容が身についているかを確認するとともに、苦手な部分をアシストシートを活用し、補充します。

(2) 生活習慣等について

① 家庭教育向上委員会との連携強化

P T A家庭教育向上委員会において、子どもたちの生活実態についてデータを共有し、生活習慣、学習習慣等について改善策を検討します。

② 家庭学習習慣の定着

1年生から6年生まで、毎日の宿題終了時に保護者に点検サインをいただき、授業と宿題を連動させることにより、さらなる学力の定着を図ります。

3年生以上はさくらノートコンクールを開き、自主学習の充実を図ります。

③ 生活振り返り週間の実施

1週間の起床時間、就寝時間、朝食摂取、ゲームや携帯スマホに要する時間、学習に要する時間等について記録し、家庭の協力を得て生活改善を図ります。

④ 学校だよりによる情報発信

学校だよりにより子どもたちの生活実態に係るデータをわかりやすく掲載し、家庭と情報共有することにより、生活・学習習慣の改善を図ります。

⑤ 土曜学習会の継続実施

月1回の土曜学習会（さくら塾）を開催し、週末課題やさくらノートの指導を通して、休日の学習習慣の定着を図るとともに、子どもたちの学習意欲を向上させます。

